

国際コミュニケーション学部が求める教員像と教員組織の編成方針

【国際コミュニケーション学部が求める教員像】

1. 能力

- ① 学部の三つのポリシー及び学部の気風を十分に理解したうえ、研究・教育・学部運営に専念し、研究成果を生かした教育を行う能力。
- ② 教育方法を琢磨し、学生の学力に適した教授法を形成できる能力。
- ③ 自らの人間性を豊かにし、学生と信頼関係を構築し、責任のある指導を行い、学生を成長させる能力。
- ④ 協働関係を重視し、組織的な行動をとることができる能力。
- ⑤ 教育を通じて学生のキャリア形成を支援し、進路についての助言ができる能力。

2. 姿勢

- ① 担当学生と近い距離で親身になって一人一人の能力を最大限伸ばすよう努力する姿勢。
- ② FD・SD活動に積極的に参加し、教育職員・事務職員と連携して学部全体の教育を最善にする姿勢。
- ③ 自らの専門分野・専門領域において真摯に学術研究に努める姿勢。
- ④ 法令及び教育倫理を遵守し、あらゆる差別やハラスメントを許さない姿勢。

【教員組織の編成方針】

- ① 大学の教員組織編成方針に基づいて学部の教育目標や三つのポリシーを実現するために十分な教員組織を整備し、円滑に教育を展開する。
- ② 学部 FD・SD 委員会を中心にして教員の資質の向上を図り授業改善に組織的に取り組む。
- ③ 教員の募集、採用、昇任等については、学部教員選考手続規程、運用内規等に従い、公平性・透明性を確保した教員人事を行う。
- ④ 国際関係、国際文化、心理学、メディア及び外国語の各分野のバランスを考え、教員配置を行う。また本学部の性格上、文化的多様性にも配慮する。